

平成 18 年度診療報酬改定影響度調査

報 告 書

平成 1 8 年 1 1 月

日本病院団体協議会

目 次

I. 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査客体	1
3. 調査内容	1
4. 調査期間	1
5. 調査方法	1
6. 調査票の回収	1
II. データクリーニングと補正	2
1. データクリーニング	2
(1) 病院別データセットの作成	2
(2) データの修正	2
2. データの補正	2
(1) 月次変動・曜日等の補正の考え方	2
(2) 外来収入の補正	2
(3) 入院収入の補正	3
III. 結果	5
1. 調査対象病院の属性	5
(1) 開設主体	5
(2) 病床規模	5
(3) 病院の種類・請求方法	5
2. 病院全体の収入変動について	6
(1) 外来収入	6
(2) 入院収入（一般病床）	8
(3) 入院収入（精神病床）	12
(4) 全体の変動（外来・入院収入合計：一般病床）	14
3. 項目別集計	16
(1) 初診料・再診料等	16
(2) 入院料・各種加算等	18
(3) リハビリテーション料および入院時食事療養費	26
(4) 日病協「平成 18 年度診療報酬改定要望事項」で評価された主な項目	28
(5) 診療報酬改定による収入減少分に占める各項目の割合	28

I. 調査の概要

1. 調査の目的

平成 18 年 4 月に実施された診療報酬改定結果検証として、当該診療報酬改定が各医療機関の経営収支に与える影響を明らかにすることを目的とした。

2. 調査客体

調査対象は、日本病院団体協議会に加盟する 7,395 病院とした。

3. 調査内容

平成 17 年 3 月、4 月、および平成 18 年 3 月、4 月における、各病院の外来収入、入院収入、各種加算点数等について調査した。

4. 調査期間

平成 18 年 7 月に調査を実施した。

5. 調査方法

調査票を調査客体病院に送付し、自記記入後返送された。

6. 調査票の回収

有効回答は 1,601、有効回答率は 21.6%であった。

II. データクリーニングと補正

1. データクリーニング

(1) 病院別データセットの作成

本調査は各病院団体から依頼し実施しているため、複数の病院団体に加盟している病院からは複数の調査票が提出される可能性がある。そのため、各病院から収集され入力されたデータから、重複を排除したデータセットを作成した。

(2) データの修正

外れ値等の抽出ならびに補正を行った。外れ値については、既存の平均値との比較、今回のデータ平均との比較等から個別に探索した上で、当該機関への問合せを含めて補正した。

2. データの補正

(1) 月次変動・曜日等の補正の考え方

今回収集したデータは、平成17年3月、4月、平成18年3月、4月のデータであるが、それぞれの月において曜日や日数が異なるため、平成17年3月を基準月とし、曜日および日数の補正を実施した。

(2) 外来収入の補正

外来収入データの月次補正にあたっては、「最近の医療費の動向」の休日等が診療収入に与える影響の補正係数を使用した。

図表 1 医療費の伸び率（対前年同月比）に対する休日数等1日当たりの影響補正係数

	総計	保険医療機関								保 険 局	
		計	医 科						診 療 所 計		歯科計
			計	大 病 院	学 院 病 院	公 的 病 院	法 人 病 院	個 人 病 院			
日曜・祭日等	-2.3	-2.1	-1.8	-1.7	-1.8	-1.7	-1.8	-2.7	-3.6	-3.9	
土曜	-1.2	-1.1	-1.1	-1.1	-1.1	-1.1	-1.1	-1.2	-1.3	-2.1	
閏日	3.3	3.5	3.4	3.3	3.4	3.3	3.4	3.9	0.2*	3.6	

出典：「最近の医療費の動向」厚生労働省保険局調査課

注1) 上記の補正係数は、「種類別概算医療費」における補正係数及び医療機関種類別の入院・入院外比率を用いて推計したものである。

注2) *については、補正係数にかかる回帰分析を行った結果、閏日について有意な結果が得られなかったため、日曜・祭日及び土曜については補正を行っているが、閏日については、補正していない。

これより、平成 17 年 3 月を基準月とした場合(各年月が平成 17 年 3 月の曜日構成と同様と仮定した場合)、各月の補正係数は以下の通り。

図表 2 外来収入補正係数

	平成 17 年 3 月	平成 17 年 4 月	平成 18 年 3 月	平成 18 年 4 月
日数	31 日	30 日	31 日	30 日
土/日・祝の日数	4 日/5 日	5 日/5 日	4 日/5 日	4 日/6 日
H17.3 を基準 (=1) とした際の各月の日数割合	1	0.955	1	0.948
H17.3 を基準 (=1) とした際の各月の補正係数	1	1.047120	1	1.054852

(3) 入院収入の補正

入院収入の補正については、東京大学医学部附属病院の日数補正係数を用いた比較を実施した。

平成 17 年 3 月、17 年 4 月、18 年 3 月、18 年 4 月のデータを使用し、休日回数や三連休等を考慮したカレンダーを作成した。次に、各日の患者数を年間平均 1 日患者数 (1,061.421 日) で除し、土日休日を補正し、日当たりの重み付けを作成した。各月の補正済み日数、および平成 17 年 3 月を基準月とした場合(各年月が平成 17 年 3 月の曜日構成と同様と仮定した場合)の補正係数は以下の通りである。

図表 3 入院収入補正係数

	平成 17 年 3 月	平成 17 年 4 月	平成 18 年 3 月	平成 18 年 4 月
補正前	31 日	30 日	31 日	30 日
補正後	31.4308 日	30.4340 日	31.5796 日	30.4340 日
H17.3 を基準 (=1) とした各月の係数	1	1.032753	0.995288	1.032753

図表 4 補正カレンダー

H17. 3			
日	曜日	患者数	補正日数
1	火	1100	1.0364
2	水	1100	1.0364
3	木	1100	1.0364
4	金	1100	1.0364
5	土	1069	1.0071
6	日	1010	0.9516
7	月	1077	1.0147
8	火	1100	1.0364
9	水	1100	1.0364
10	木	1100	1.0364
11	金	1100	1.0364
12	土	1069	1.0071
13	日	1010	0.9516
14	月	1077	1.0147
15	火	1100	1.0364
16	水	1100	1.0364
17	木	1100	1.0364
18	金	1100	1.0364
19	土	1069	1.0071
20	日	1010	0.9516
21	月	986	0.9290
22	火	1053	0.9921
23	水	1076	1.0137
24	木	1099	1.0354
25	金	1100	1.0364
26	土	1069	1.0071
27	日	1010	0.9516
28	月	1077	1.0147
29	火	1100	1.0364
30	水	1100	1.0364
31	木	1100	1.0364
計		33,361	31.4308

H17. 4			
日	曜日	患者数	補正日数
1	金	1100	1.0364
2	土	1069	1.0071
3	日	1010	0.9516
4	月	1077	1.0147
5	火	1100	1.0364
6	水	1100	1.0364
7	木	1100	1.0364
8	金	1100	1.0364
9	土	1069	1.0071
10	日	1010	0.9516
11	月	1077	1.0147
12	火	1100	1.0364
13	水	1100	1.0364
14	木	1100	1.0364
15	金	1100	1.0364
16	土	1069	1.0071
17	日	1010	0.9516
18	月	1077	1.0147
19	火	1100	1.0364
20	水	1100	1.0364
21	木	1100	1.0364
22	金	1100	1.0364
23	土	1069	1.0071
24	日	1010	0.9516
25	月	1077	1.0147
26	火	1100	1.0364
27	水	1100	1.0364
28	木	1100	1.0364
29	金	1069	1.0071
30	土	1010	0.9516
31			
計		32,303	30.4340

H18. 3			
日	曜日	患者数	補正日数
1	水	1100	1.0364
2	木	1100	1.0364
3	金	1100	1.0364
4	土	1069	1.0071
5	日	1010	0.9516
6	月	1077	1.0147
7	火	1100	1.0364
8	水	1100	1.0364
9	木	1100	1.0364
10	金	1100	1.0364
11	土	1069	1.0071
12	日	1010	0.9516
13	月	1077	1.0147
14	火	1100	1.0364
15	水	1100	1.0364
16	木	1100	1.0364
17	金	1100	1.0364
18	土	1069	1.0071
19	日	1010	0.9516
20	月	1077	1.0147
21	火	1046	0.9855
22	水	1113	1.0486
23	木	1136	1.0703
24	金	1100	1.0364
25	土	1069	1.0071
26	日	1010	0.9516
27	月	1077	1.0147
28	火	1100	1.0364
29	水	1100	1.0364
30	木	1100	1.0364
31	金	1100	1.0364
計		33,519	31.5796

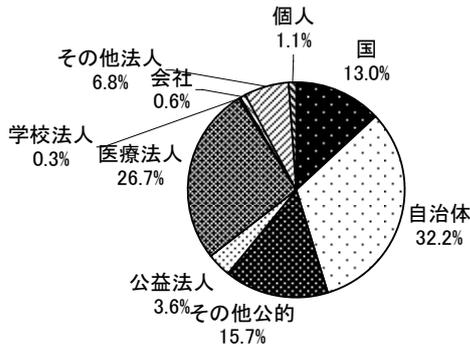
H18. 4			
日	曜日	患者数	補正日数
1	土	1069	1.0071
2	日	1010	0.9516
3	月	1077	1.0147
4	火	1100	1.0364
5	水	1100	1.0364
6	木	1100	1.0364
7	金	1100	1.0364
8	土	1069	1.0071
9	日	1010	0.9516
10	月	1077	1.0147
11	火	1100	1.0364
12	水	1100	1.0364
13	木	1100	1.0364
14	金	1100	1.0364
15	土	1069	1.0071
16	日	1010	0.9516
17	月	1077	1.0147
18	火	1100	1.0364
19	水	1100	1.0364
20	木	1100	1.0364
21	金	1100	1.0364
22	土	1069	1.0071
23	日	1010	0.9516
24	月	1077	1.0147
25	火	1100	1.0364
26	水	1100	1.0364
27	木	1100	1.0364
28	金	1100	1.0364
29	土	1069	1.0071
30	日	1010	0.9516
31			
計		32,303	30.4340

Ⅲ. 結果

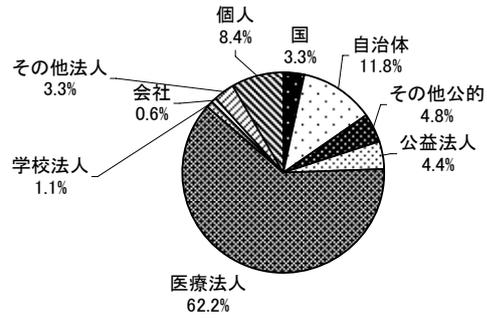
1. 調査対象病院の属性

(1) 開設主体

開設主体別病院割合 (n=1,601)

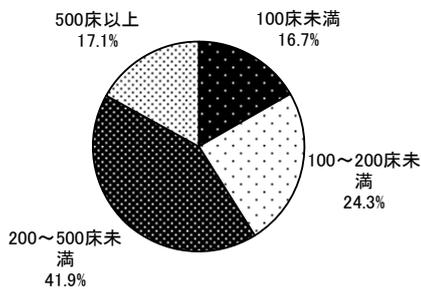


参考: 全国の開設主体別病院割合 (n=9,077)
※出典: 平成16年度医療施設調査

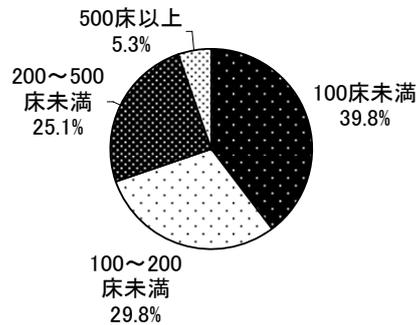


(2) 病床規模

病床規模別病院割合 (n=1,601)

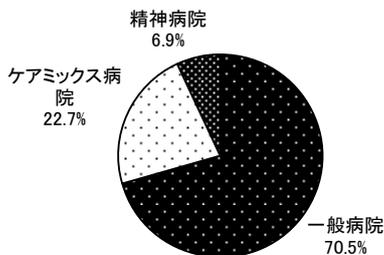


参考: 全国の病床規模別病院割合 (n=9,077)
※出典: 平成16年度医療施設調査

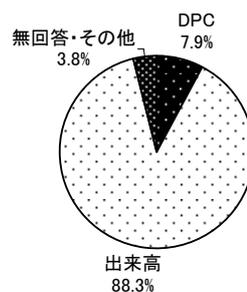


(3) 病院の種類・請求方法

病院の種類 (n=1,601)



請求方法 (n=1,601)



2. 病院全体の収入変動について

今回、診療報酬改定の影響度を検討するにあたっては、月間収入全体の値の変動に着目し、次の2つの視点からの比較を実施した。

図表 5 分析の視点

視点	内容
改定前後の月次影響度把握	<ul style="list-style-type: none"> ・ H18年3月とH18年4月の変動把握 ・ H17.3とH17.4（前年同時期の月次変動）の比較を考慮する
前年同月と比較した改定影響度把握	<ul style="list-style-type: none"> ・ H17年4月とH18年4月の変動把握 ・ H17.3とH18.3（経年的変動）の比較を考慮する

(1) 外来収入

下記は外来収入のデータのうち、件数、延日数、月間収入、一人一日当たり収入の値がすべて備わっていた1,538件についての補正前の集計値である。

図表 6 外来収入集計

	外来収入 件数 H17.3(件)	外来収入 件数 H17.4(件)	外来収入 件数 H18.3(件)	外来収入 件数 H18.4(件)
度数	1538	1538	1538	1538
平均値	8,112.3	7,523.6	7,763.9	7,200.4
中央値	4,881.0	4,601.0	4,605.0	4,250.5

外来収入 延日数 H17.3 (日)	外来収入 延日数 H17.4 (日)	外来収入 延日数 H18.3 (日)	外来収入 延日数 H18.4 (日)
1538	1538	1538	1538
12,796.7	11,570.2	12,073.8	10,819.2
8,713.0	8,015.0	8,154.5	7,342.5

	外来収入 月間収入 H17.3(千円)	外来収入 月間収入 H17.4(千円)	外来収入 月間収入 H18.3(千円)	外来収入 月間収入 H18.4(千円)
度数	1538	1538	1538	1538
平均値	124,244.0	113,672.5	125,265.3	109,395.7
中央値	76,248.0	69,608.5	73,725.0	66,014.5

外来収入 1人1日 当H17.3 (円)	外来収入 1人1日 当H17.4 (円)	外来収入 1人1日 当H18.3 (円)	外来収入 1人1日 当H18.4 (円)
1538	1538	1538	1538
9,123.4	9,245.6	9,639.1	9,407.6
8,452.0	8,513.0	8,917.0	8,727.5

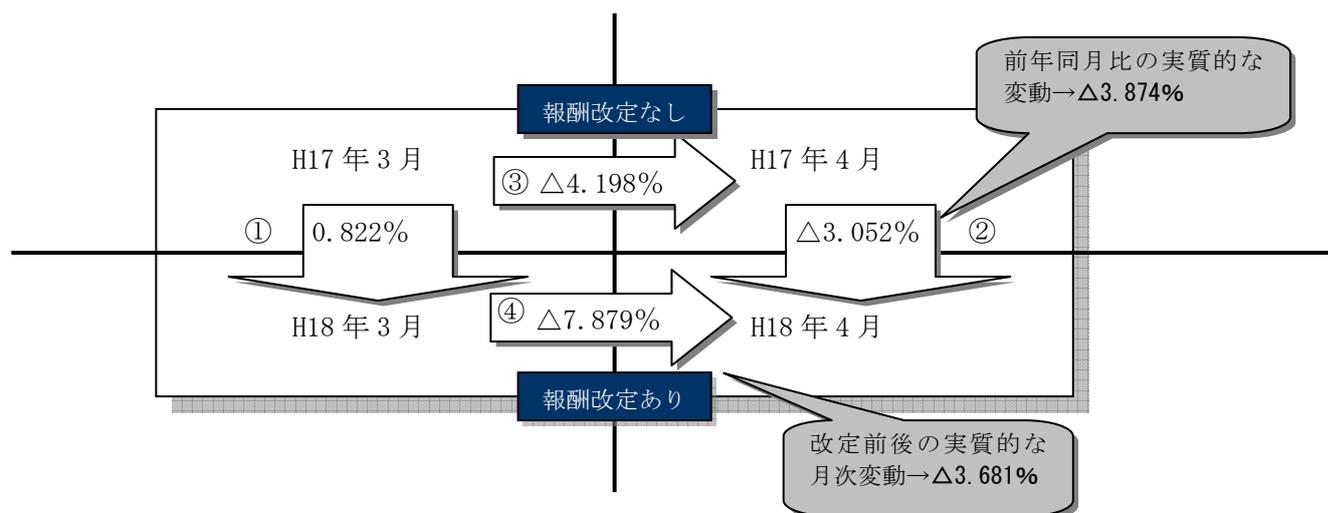
補正後の平均値（月間収入）は以下の通りである。

図表 7 外来収入（月間収入）の補正後の平均値

	H17. 3	H17. 4	H18. 3	H18. 4
補正後平均値	(A) 124, 244. 0	(B) 119, 028. 8	(C) 125, 265. 3	(D) 115, 396. 2

これより、月間収入の平均値について、①H17. 3→H18. 3、②H17. 4→H18. 4、③H17. 3→H17. 4、④H18. 3→H18. 4それぞれの変動について%を算出し、以下に示した。

①H17. 3→H18. 3 の変化	$1 - (C) / (A)$	0. 822%の増
②H17. 4→H18. 4 の変化	$1 - (D) / (B)$	3. 052%の減
③H17. 3→H17. 4 の変化	$1 - (B) / (A)$	4. 198%の減
④H18. 3→H18. 4 の変化	$1 - (D) / (C)$	7. 879%の減



H17年3月とH18年3月を比較すると、経年的な変動が+0.822%あるために、H17年4月とH18年4月を比較すると $\Delta 3.052\% - 0.822\% = \Delta 3.874\%$ となり、自然変動を除いた改定による変動分が $\Delta 3.874\%$ 生じると考えられる。さらに、H17年3月と4月、H18年3月と4月の変動を比較すると、改定の影響がないH17年の場合には $\Delta 4.198\%$ の変動がある。これを自然な月次変化とみなすと、 $\Delta 7.879\% - \Delta 4.198\% = \Delta 3.681\%$ の改定の影響が生じると考えられる。

(2) 入院収入（一般病床）

下記は一般病床の入院収入のデータのうち、件数、延日数、月間収入、一人一日当たり収入の値がすべて備わっていた 970 件についての補正前の集計値である。

図表 8 入院収入集計一覧（一般病床）

	入院収入 （一般） 件数 H17.3(件)	入院収入 （一般） 件数 H17.4(件)	入院収入 （一般） 件数 H18.3(件)	入院収入 （一般） 件数 H18.4(件)	入院収入 （一般） 延日数 H17.3 （日）	入院収入 （一般） 延日数 H17.4 （日）	入院収入 （一般） 延日数 H18.3 （日）	入院収入 （一般） 延日数 H18.4 （日）
度数	970	970	970	970	970	970	970	970
平均値	671.0	628.2	655.4	616.3	7,810.1	7,309.4	7,541.4	7,109.3
中央値	464.5	437.5	445.0	420.5	6,002.5	5,643.5	5,725.0	5,366.5

	入院収入 （一般） 月間収入 H17.3(千円)	入院収入 （一般） 月間収入 H17.4(千円)	入院収入 （一般） 月間収入 H18.3(千円)	入院収入 （一般） 月間収入 H18.4(千円)	入院収入 （一般） 1人1日 当 H17.3 （円）	入院収入 （一般） 1人1日 当 H17.4 （円）	入院収入 （一般） 1人1日 当 H18.3 （円）	入院収入 （一般） 1人1日 当 H18.4 （円）
度数	970	970	970	970	970	970	970	970
平均値	311,160.1	287,694.9	308,055.7	279,993.1	34,535.6	34,175.1	35,108.6	33,904.9
中央値	193,240.0	180,787.5	193,090.0	173,938.0	33,227.0	32,822.0	33,758.0	32,515.5

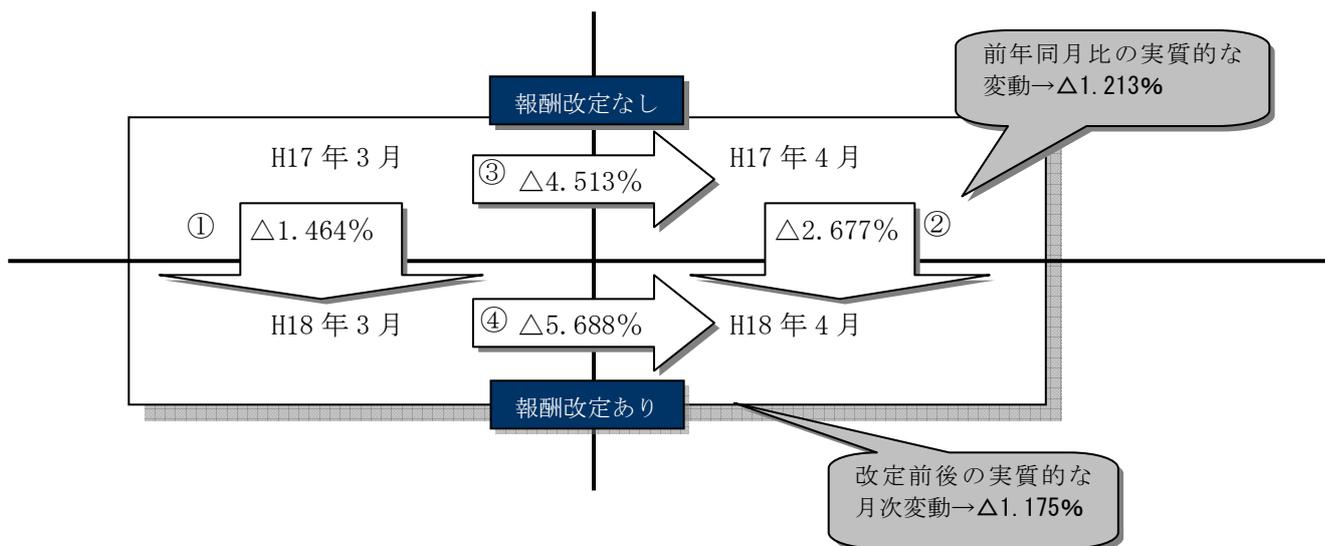
前述の補正係数を用いて、月間収入平均値を補正すると以下の通り。

図表 9 入院月間収入（一般病床）の補正後の平均値

	H17.3	H17.4	H18.3	H18.4
補正後平均値（千円）	(A) 311,160.1	(B) 297,117.8	(C) 306,604.2	(D) 289,163.7

これより、月間収入の平均値について、①H17.3→H18.3、②H17.4→H18.4、③H17.3→H17.4、④H18.3→H18.4 それぞれの変動について%を算出した。

①H17.3→H18.3 の変化	$1 - (C) / (A)$	1.464%の減
②H17.4→H18.4	$1 - (D) / (B)$	2.677%の減
③H17.3→H17.4	$1 - (B) / (A)$	4.513%の減
④H18.3→H18.4	$1 - (D) / (C)$	5.688%の減



H17年3月とH18年3月を比較すると、経年的な変動が△1.464%あるために、H17年4月とH18年4月を比較すると $\Delta 2.677\% - \Delta 1.464\% = \Delta 1.213\%$ となり、自然変動を除いた改定による変動分が△1.213%生じると考えられる。さらに、H17年3月と4月、H18年3月と4月の変動を比較すると、改定の影響がないH17年の場合にも△4.513%の変動がある。これを自然な月次変化とみなすと、 $\Delta 5.688\% - \Delta 4.513\% = \Delta 1.175\%$ の改定の影響が生じると考えられる。

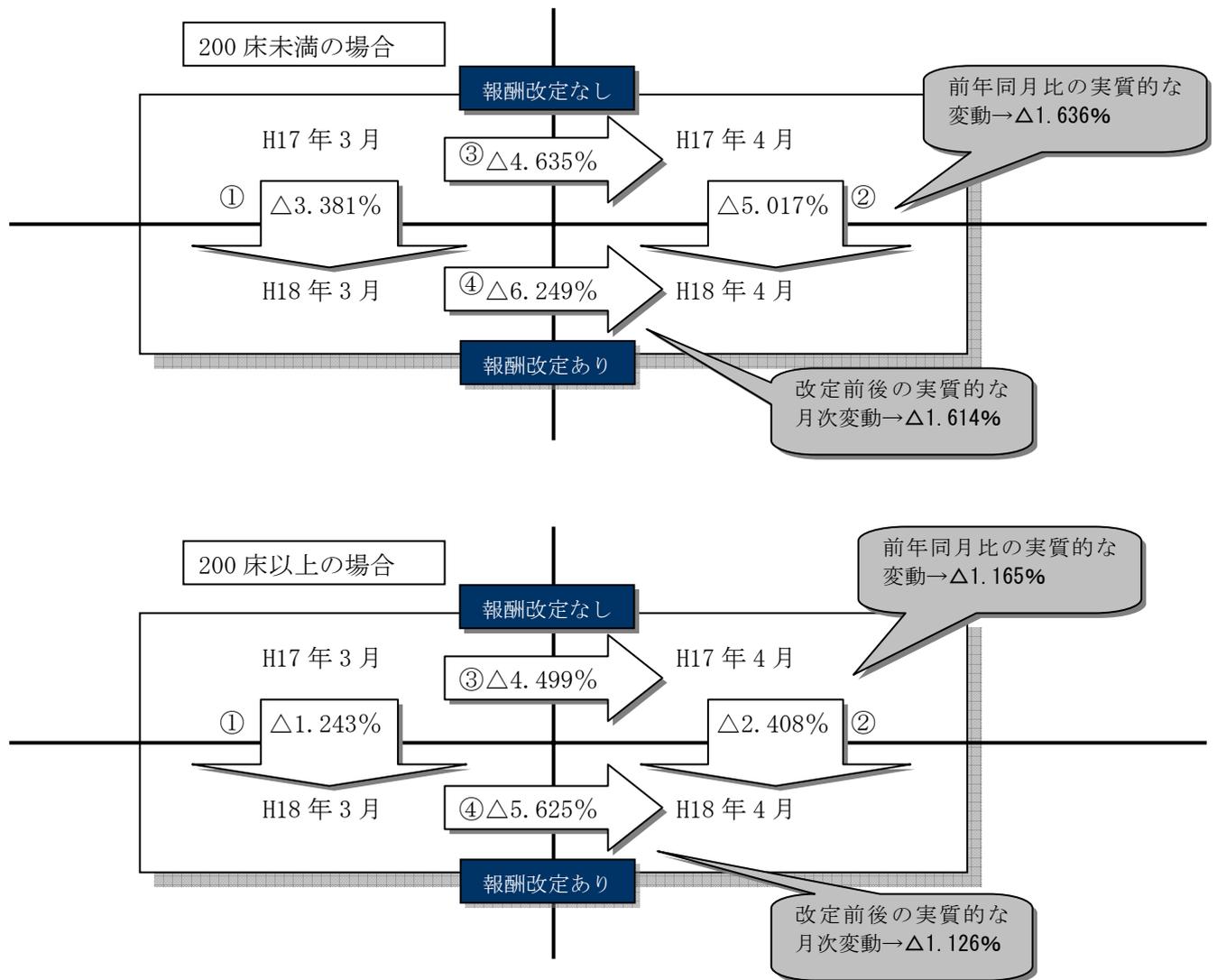
さらに、200床未満/200床以上に区分して変動をみると、入院月間収入の平均は下記の通りであった。

図表 10 入院月間収入（一般病床）の補正後の病床規模別平均値

		H17.3	H17.4	H18.3	H18.4
200床未満(n=388)	補正後平均値(千円)	(A) 80,448.9	(B) 76,720.3	(C) 77,728.8	(D) 72,871.6
200床以上(n=582)	補正後平均値(千円)	(A) 464,967.6	(B) 444,049.4	(C) 459,187.8	(D) 433,358.5

		200床未満	200床以上
①H17.3→H18.3の変化	$1 - (C) / (A)$	3.381%の減	1.243%の減
②H17.4→H18.4	$1 - (D) / (B)$	5.017%の減	2.408%の減
③H17.3→H17.4	$1 - (B) / (A)$	4.635%の減	4.499%の減
④H18.3→H18.4	$1 - (D) / (C)$	6.249%の減	5.625%の減

これより、200床未満の病院では、H17年4月とH18年4月の変動は、経年変化を除くと $\Delta 5.017\% - \Delta 3.381\% = \Delta 1.636\%$ であるのに対し、200床以上の病院では $\Delta 2.408\% - \Delta 1.243\% = \Delta 1.165\%$ であった。また、H18年3月とH18年4月の変化についても、200床未満の病院では $\Delta 6.249\% - \Delta 4.635\% = \Delta 1.614\%$ であるのに対し、200床以上の病院では $\Delta 5.625\% - \Delta 4.499\% = \Delta 1.126\%$ であった。



開設主体別にみると、下記の通りであった。国（厚労省、国立病院機構、国立大学法人等）、その他公的（日赤、済生会等）、医療法人等で収入の下げ幅が大きい。ただし、学校法人においては、改定後も増収となっている。

※ ただし、公益法人、会社立、その他法人、および個人病院は対象数が少ないため、掲載していない。

図表 11 開設主体別入院収入変動割合（一般病床）

開設主体	対象数	H17.3 とH18.3 の比較	H17.4 とH18.4 の比較	H17.3 とH17.4 の比較	H18.3 とH18.4 の比較	H17.4と H18.4（前 年同月比） の実質的 な変動	H18.3と H18.4（改 定前後）の 実質的な 変動
国	139	0.245	-2.375	-4.421	-6.920	-2.620	-2.498
自治体	310	-3.392	-3.657	-6.036	-6.294	-0.265	-0.258
その他公的	156	-1.061	-2.697	-3.671	-5.263	-1.635	-1.592
医療法人	226	-0.875	-2.568	-2.706	-4.368	-1.693	-1.662
学校法人	61	-0.822	-1.905	-4.104	-5.151	-1.083	-1.047

診療報酬請求方法別にみると、下記の通りであった。DPCを導入している病院の方が、出来高病院よりも影響度が少ない。

図表 12 開設主体別入院収入変動割合（一般病床）

開設主体	対象数	H17.3 とH18.3 の比較	H17.4 とH18.4 の比較	H17.3 とH17.4 の比較	H18.3 とH18.4 の比較	H17.4と H18.4（前 年同月比） の実質的 な変動	H18.3と H18.4（改 定前後）の 実質的な 変動
DPC	95	-0.850	-1.772	-4.856	-5.741	-0.922	-0.885
出来高	846	-1.705	-3.074	-4.309	-5.641	-1.369	-1.332

(3) 入院収入（精神病床）

精神病床を対象として、同様の検討を行った。下記は精神病床の入院収入のデータのうち、件数、延日数、月間収入、一人一日当たり収入の値がすべて備わっていた 207 件についての補正前の集計値である。

図表 13 入院収入集計一覧（一般病床）

	入院収入 精神 件数 H17.3 (件)	入院収入 精神 件数 H17.4 (件)	入院収入 精神 件数 H18.3 (件)	入院収入 精神 件数 H18.4 (件)	入院収入 精神 延日数 H17.3 (日)	入院収入 精神 延日数 H17.4 (日)	入院収入 精神 延日数 H18.3 (日)	入院収入 精神 延日数 H18.4 (日)
度数	207	207	207	207	207	207	207	207
平均値	173.9	171.2	170.8	166.0	4,624.4	4,409.8	4,486.8	4,268.7
中央値	125.0	125.0	127.0	126.0	3,122.0	3,239.0	3,520.0	3,106.0
標準偏差	132.5	130.0	128.0	126.7	3,803.2	3,623.1	3,684.3	3,557.6

	入院収入 精神 月間収入 H17.3 (千 円)	入院収入 精神 月間収入 H17.4 (千 円)	入院収入 精神 月間収入 H18.3 (千 円)	入院収入 精神 月間収入 H18.4 (千 円)	入院収入 精神 1人1日 当 H17.3 (円)	入院収入 精神 1人1日 当 H17.4 (円)	入院収入 精神 1人1日 当 H18.3 (円)	入院収入 精神 1人1日 当 H18.4 (円)
度数	207	207	207	207	207	207	207	207
平均値	63,732.3	60,747.9	63,040.4	58,842.9	14,895.9	14,878.2	15,170.4	14,970.6
中央値	43,459.0	40,017.0	44,481.0	40,412.0	14,219.0	14,272.0	14,729.0	14,395.0
標準偏差	52,155.6	49,617.1	51,376.0	48,593.0	3,839.7	3,842.2	4,142.2	4,089.0

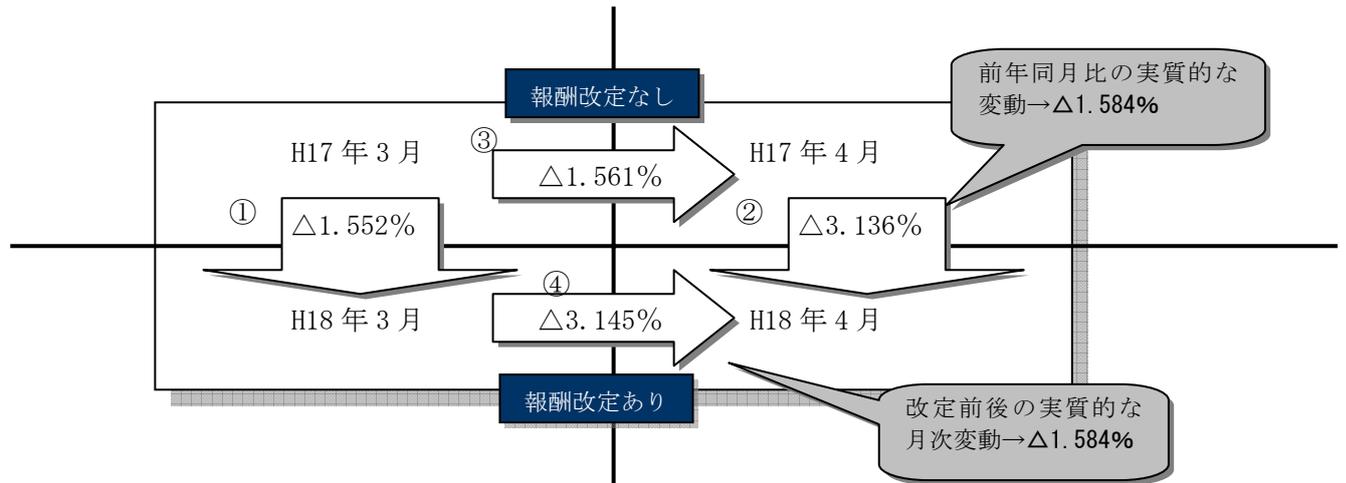
前述の補正係数を用いて、月間収入平均値を補正すると以下の通り。

図表 14 入院月間収入（精神病床）の補正後の平均値

	H17.3	H17.4	H18.3	H18.4
補正後平均値（千円）	(A) 63,732.3	(B) 62,737.6	(C) 62,743.4	(D) 60,770.2

これより、月間収入の平均値について、①H17.3→H18.3、②H17.4→H18.4、③H17.3→H17.4、④H18.3→H18.4それぞれの変動について%を算出した。

①H17.3→H18.3の変化	$1 - (C) / (A)$	1.552%の減
②H17.4→H18.4	$1 - (D) / (B)$	3.136%の減
③H17.3→H17.4	$1 - (B) / (A)$	1.561%の減
④H18.3→H18.4	$1 - (D) / (C)$	3.145%の減



H17年3月とH18年3月を比較すると、経年的な変動が $\Delta 1.552\%$ あるために、H17年4月とH18年4月を比較すると $\Delta 3.136 - \Delta 1.552 = \underline{\Delta 1.584\%}$ となり、自然変動を除いた改定による変動分が $\Delta 1.584\%$ 生じると考えられる。さらに、H17年3月と4月、H18年3月と4月の変動を比較すると、改定の影響がないH17年の場合にも $\Delta 1.561\%$ の変動がある。これを自然な月次変化とみなすと、 $\Delta 3.145 - \Delta 1.561 = \underline{\Delta 1.584\%}$ の改定の影響が生じると考えられる。

(4) 全体の変動（外来・入院収入合計：一般病床）

一般病床の外来収入および入院収入のデータのうち、件数、延日数、月間収入、一人一日当たり収入の値がすべて備わっていた 949 件について、病院収入全体の変動を把握した。

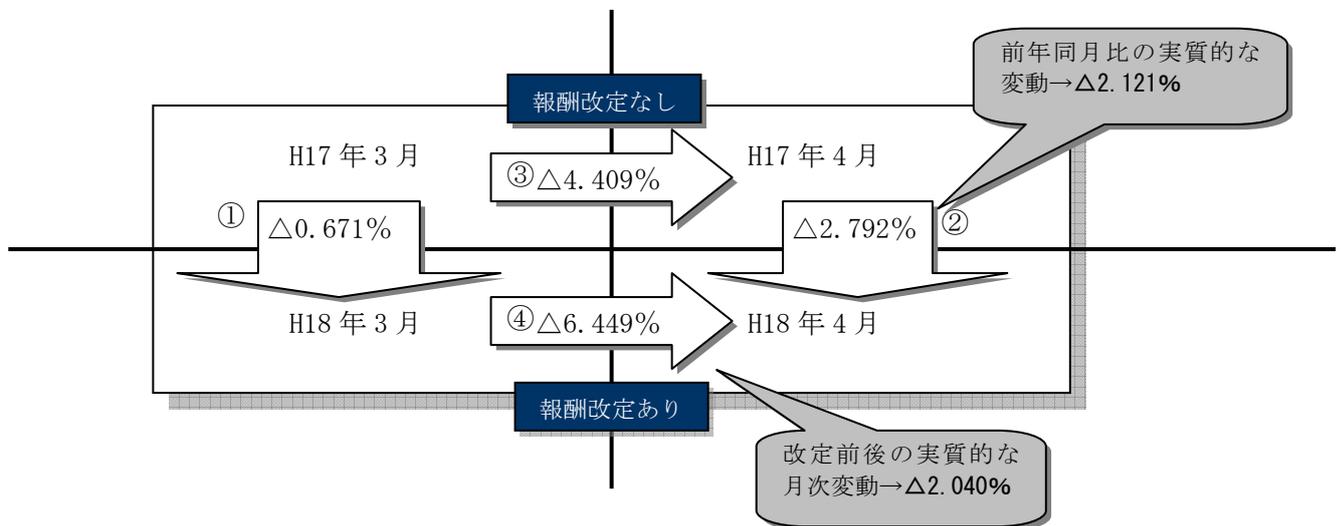
全体合計額の平均値（補正済み）は以下の通り。

図表 15 補正済み月間収入（外来+入院：一般病床）集計値

	月間収入（全体） H17.3	月間収入（全体） H17.4	月間収入（全体） H18.3	月間収入（全体） H18.4
度数	949	949	949	949
平均値	(A) 451,564.9	(B) 431,657.3	(C) 448,533.2	(D) 419,606.6
中央値	297,934.0	282,861.5	290,326.1	267,586.9
標準偏差	462,726.0	443,818.0	469,594.5	440,194.8

これより、月間収入の平均値について、①H17.3→H18.3、②H17.4→H18.4、③H17.3→H17.4、④H18.3→H18.4 それぞれの変動について%を算出した。

①H17.3→H18.3の変化	$1 - (C) / (A)$	0.671%の減
②H17.4→H18.4	$1 - (D) / (B)$	2.792%の減
③H17.3→H17.4	$1 - (B) / (A)$	4.409%の減
④H18.3→H18.4	$1 - (D) / (C)$	6.449%の減

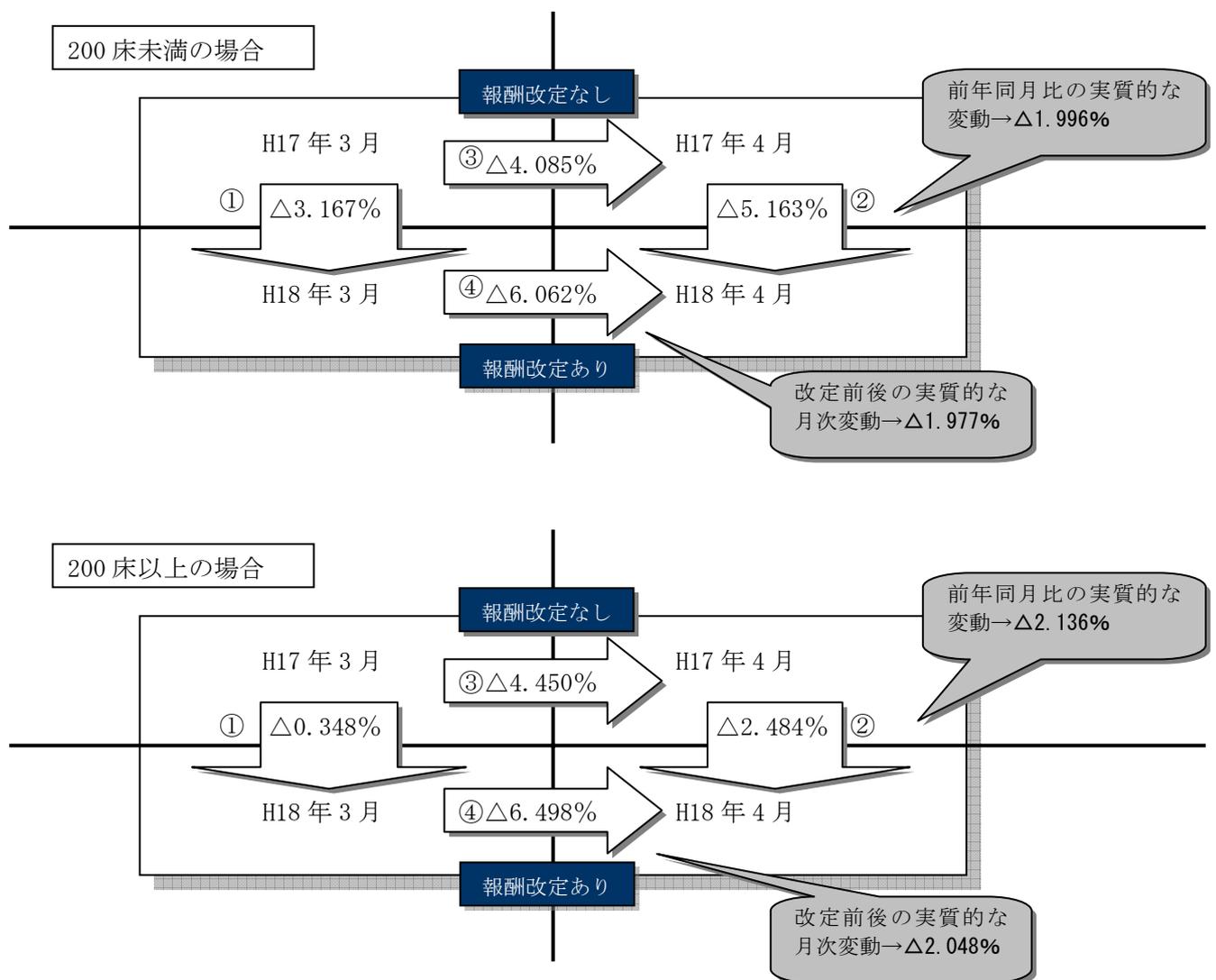


さらに、200床未満/200床以上に区分して変動をみると、入院月間収入の平均は以下の通りであった。

図表 16 月間収入（外来＋入院：一般病床）の補正後の病床規模別平均値と変化割合

		H17. 3	H17. 4	H18. 3	H18. 4
200床未満(n=377)	補正後平均値(千円)	(A) 130,271.3	(B) 124,949.5	(C) 126,145.8	(D) 118,498.7
200床以上(n=572)	補正後平均値(千円)	(A) 663,326.7	(B) 633,805.7	(C) 661,015.8	(D) 618,064.1

		200床未満	200床以上
①H17.3→H18.3の変化	$1 - (C) / (A)$	3.167%の減	0.348%の減
②H17.4→H18.4	$1 - (D) / (B)$	5.163%の減	2.484%の減
③H17.3→H17.4	$1 - (B) / (A)$	4.085%の減	4.450%の減
④H18.3→H18.4	$1 - (D) / (C)$	6.062%の減	6.498%の減



3. 項目別集計

(1) 初診料・再診料等

①初診料

平成17年3月、4月、平成18年3月、4月のデータがすべて備わっていたデータ(1,532件)を分析対象とした。また、月間収入について、3月と4月を比較する上で単純な日数補正を実施した。

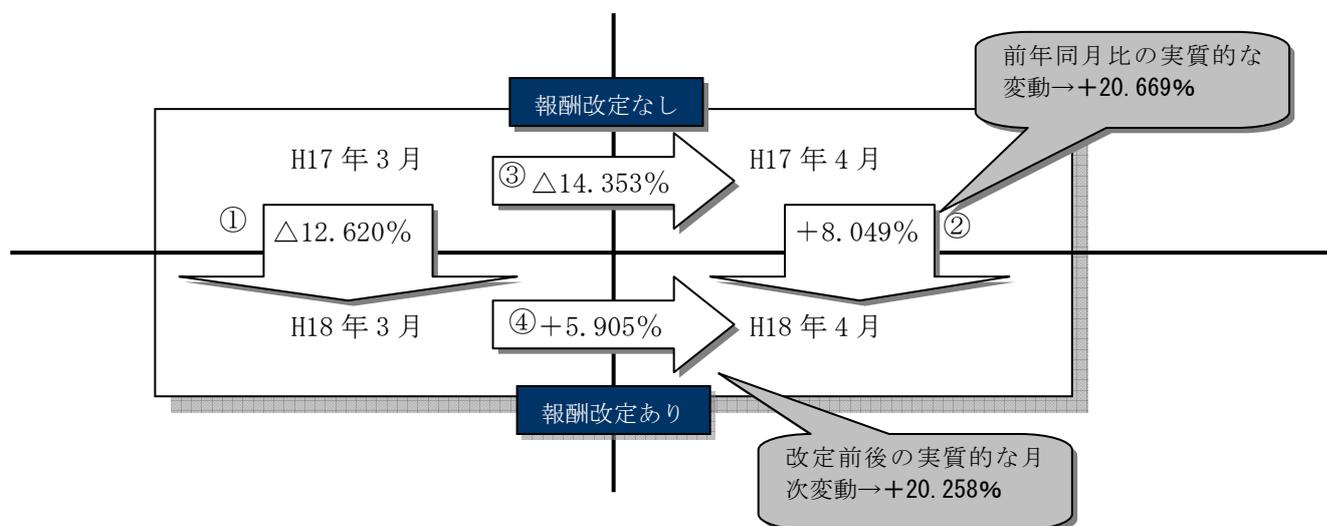
※ 補正後4月月間収入=4月月間収入×(31/30)とした。以下、本節「3. 項目別集計」における補正はすべて同様の方法による。

図表 17 初診料集計一覧

	初診料 算定件数 H17.3(件)	初診料 月間収入 H17.3 (千円)	初診料 算定件数 H17.4(件)	初診料 月間収入 H17.4 (千円)	初診料 算定件数 H18.3(件)	初診料 月間収入 H18.3 (千円)	初診料 算定件数 H18.4(件)	初診料 月間収入 H18.4 (千円)
度数	1532	1532	1532	1532	1532	1532	1532	1532
平均値	1,427.8	3,640.9	1,183.4	3,017.7	1,247.6	3,181.4	1,207.6	3,260.6
中央値	1,126.5	2,872.6	918.5	2,342.2	948.0	2,417.4	893.5	2,412.5
補正後平均値	—	(A)3,640.9	—	(B)3,118.3	—	(C)3,181.4	—	(D)3,369.3

これより、月間収入の補正後平均値について、①H17.3→H18.3、②H17.4→H18.4、③H17.3→H17.4、④H18.3→H18.4それぞれの変動について%を算出した。

①H17.3→H18.3の変化	$1 - (C) / (A)$	12.620%の減
②H17.4→H18.4の変化	$1 - (D) / (B)$	8.049%の増
③H17.3→H17.4の変化	$1 - (B) / (A)$	14.353%の減
④H18.3→H18.4の変化	$1 - (D) / (C)$	5.905%の増



②再診料・外来診療料

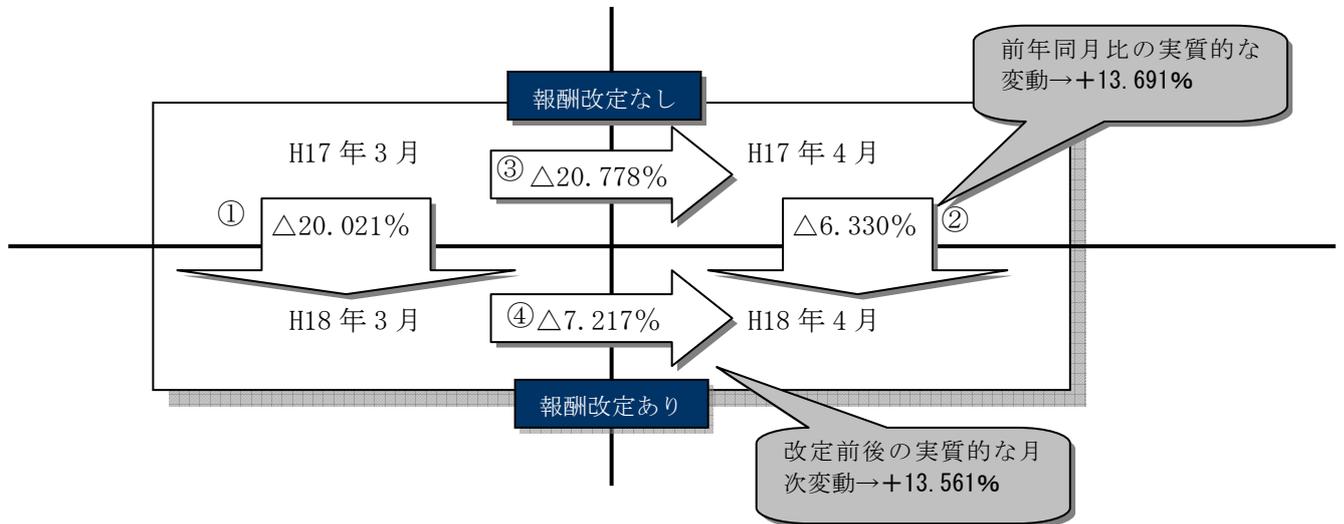
平成17年3月、4月、平成18年3月、4月のデータがすべて備わっていたデータ（1,513件）を分析対象とした。また、月間収入について、3月と4月を比較する上で単純な日数補正を実施した。

図表 18 再診料・外来診療料集計一覧

	再診外来 算定件数 H17.3(件)	再診外来 月間収入 H17.3 (千円)	再診外来 算定件数 H17.4(件)	再診外来 月間収入 H17.4 (千円)	再診外来 算定件数 H18.3(件)	再診外来 月間収入 H18.3 (千円)	再診外来 算定件数 H18.4(件)	再診外来 月間収入 H18.4 (千円)
度数	1513	1513	1513	1513	1513	1513	1513	1513
平均値	10,264.1	7,061.2	9,333.8	5,413.6	9,737.1	5,647.5	8,896.3	5,070.9
中央値	7,031.0	4,355.2	6,492.0	3,765.4	6,721.0	3,898.2	6,050.0	3,448.5
補正後平均値	—	(A)7,061.2	—	(B)5,594.0	—	(C)5,647.5	—	(D)5,239.9

これより、月間収入の補正後平均値について、①H17.3→H18.3、②H17.4→H18.4、③H17.3→H17.4、④H18.3→H18.4それぞれの変動について%を算出した。

①H17.3→H18.3の変化	$1 - (C) / (A)$	20.021%の減
②H17.4→H18.4の変化	$1 - (D) / (B)$	6.330%の減
③H17.3→H17.4の変化	$1 - (B) / (A)$	20.778%の減
④H18.3→H18.4の変化	$1 - (D) / (C)$	7.217%の減



③継続管理加算

平成17年3月、4月、平成18年3月のデータがすべて備わっていたデータ（695件）を分析対象とした。また、月間収入について、3月と4月を比較する上で単純な日数補正を実施した。

図表 19 継続管理加算集計一覧

	継続管理算定 件数 H17.3 (件)	継続管理月間 収入 H17.3 (千円)	継続管理算定 件数 H17.4 (件)	継続管理月間 収入 H17.4 (千円)	継続管理算定 件数 H18.3 (件)	継続管理月間 収入 H18.3 (千円)
度数	695	695	695	695	695	695
平均値	1,890.3	94.5	1,839.2	92.0	1,876.6	93.8
中央値	1,560.0	78.0	1,543.0	77.2	1,570.0	78.5
補正後平均値	—	(A)94.5	—	(B)95.0	—	(C)93.8

(2) 入院料・各種加算等

①入院基本料、特定入院料等（全体）

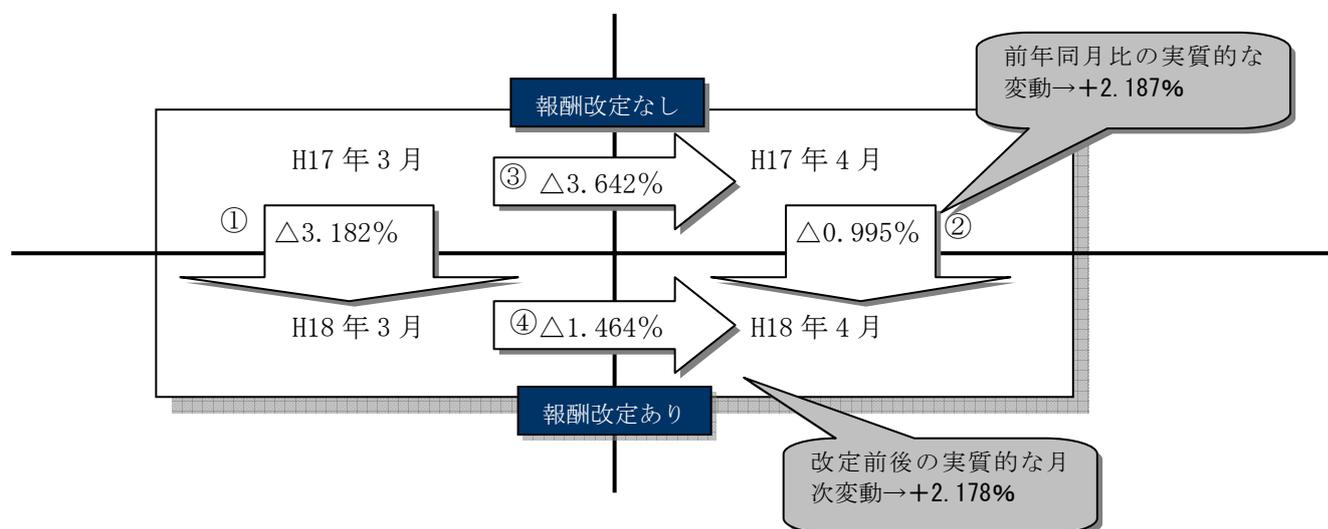
平成17年3月、4月、平成18年3月、4月のデータがすべて備わっていたデータ（1,006件）を分析対象とした。また、月間収入について、3月と4月を比較する上で単純な日数補正を実施した。

図表 20 入院基本料、特定入院料等（全体）集計一覧

	入院基本 (全体) 延日数 H17.3(日)	入院基本 (全体) 月間収入 H17.3 (千円)	入院基本 (全体) 延日数 H17.4(日)	入院基本 (全体) 月間収入 H17.4 (千円)	入院基本 (全体) 延日数 H18.3(日)	入院基本 (全体) 月間収入 H18.3 (千円)	入院基本 (全体) 延日数 H18.4(日)	入院基本 (全体) 月間収入 H18.4 (千円)
度数	1006	1006	1006	1006	1006	1006	1006	1006
平均値	8,257.0	151,277.7	7,747.8	141,066.5	7,954.3	146,463.7	7,473.3	139,663.4
中央値	6,405.0	94,174.5	6,039.0	88,521.5	6,058.5	91,045.0	5,700.0	86,553.0
補正後平均値	—	(A) 151,277.7	—	(B) 145,768.7	—	(C) 146,463.7	—	(D) 144,318.8

これより、月間収入の補正後平均値について、①H17.3→H18.3、②H17.4→H18.4、③H17.3→H17.4、④H18.3→H18.4それぞれの変動について%を算出した。

①H17.3→H18.3の変化	$1 - (C) / (A)$	3.182%の減
②H17.4→H18.4の変化	$1 - (D) / (B)$	0.995%の減
③H17.3→H17.4の変化	$1 - (B) / (A)$	3.642%の減
④H18.3→H18.4の変化	$1 - (D) / (C)$	1.464%の減



②入院基本料、特定入院料等（出来高病院：一般病床）

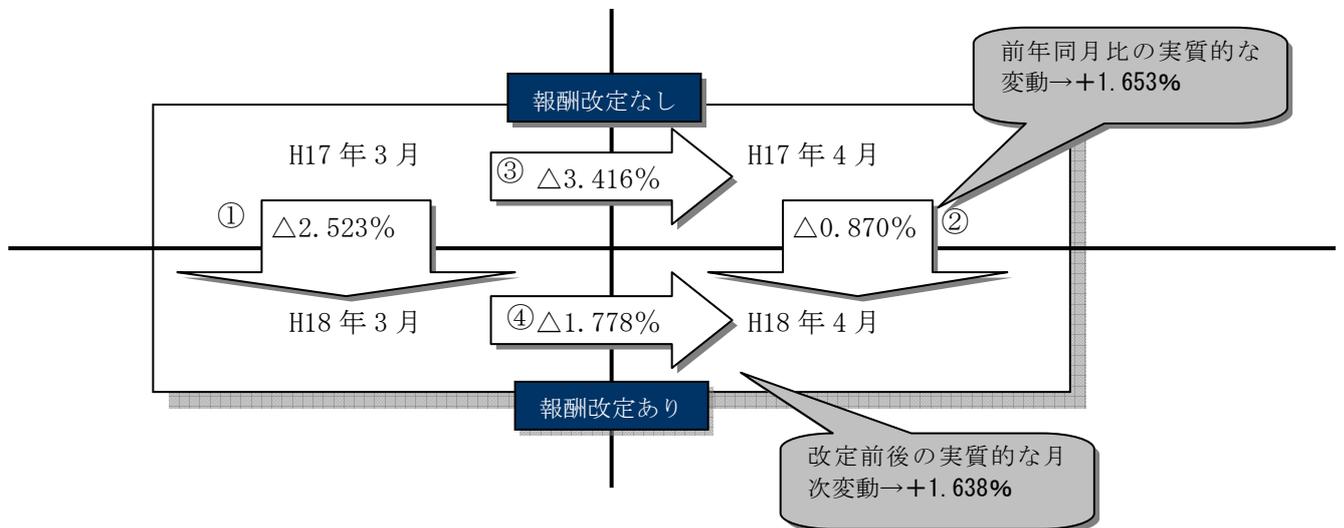
平成17年3月、4月、平成18年3月、4月のデータがすべて備わっていたデータ（737件）を分析対象とした。また、月間収入について、3月と4月を比較する上で単純な日数補正を実施した。

図表 21 入院基本料、特定入院料等（出来高病院：一般病床）集計一覧

	出来高一般延日数 H17.3(日)	出来高一般月間収入 H17.3 (千円)	出来高一般延日数 H17.4(日)	出来高一般月間収入 H17.4 (千円)	出来高一般延日数 H18.3(日)	出来高一般月間収入 H18.3 (千円)	出来高一般延日数 H18.4(日)	出来高一般月間収入 H18.4 (千円)
度数	737	737	737	737	737	737	737	737
平均値	6,906.7	116,237.9	6,459.7	108,638.1	6,634.9	113,297.7	6,238.1	107,693.3
中央値	5,472.0	85,495.0	5,145.0	80,010.0	5,182.0	82,256.0	4,838.0	77,003.0
補正後平均値	—	(A) 116,230.0	—	(B) 112,259.4	—	(C) 113,297.7	—	(D) 111,283.1

これより、月間収入の補正後平均値について、①H17.3→H18.3、②H17.4→H18.4、③H17.3→H17.4、④H18.3→H18.4それぞれの変動について%を算出した。

①H17.3→H18.3の変化	$1 - (C) / (A)$	2.523%の減
②H17.4→H18.4の変化	$1 - (D) / (B)$	0.870%の減
③H17.3→H17.4の変化	$1 - (B) / (A)$	3.416%の減
④H18.3→H18.4の変化	$1 - (D) / (C)$	1.778%の減



③入院基本料、特定入院料等（DPC病院：一般病床）

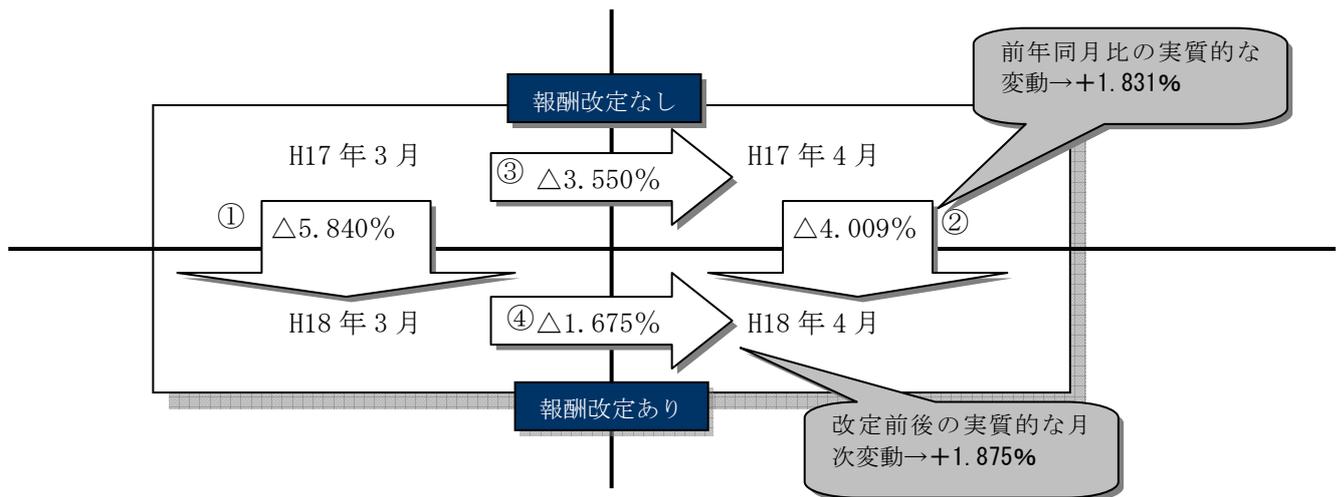
平成17年3月、4月、平成18年3月、4月のデータがすべて備わっていたデータ（89件）を分析対象とした。また、月間収入について、3月と4月を比較する上で単純な日数補正を実施した。

図表 22 入院基本料、特定入院料等（DPC 病院：一般病床）集計一覧

	DPC 延日数 H17.3(日)	DPC 月間収入 H17.3 (千円)	DPC 延日数 H17.4(日)	DPC 月間収入 H17.4 (千円)	DPC 延日数 H18.3(日)	DPC 月間収入 H18.3 (千円)	DPC 延日数 H18.4(日)	DPC 月間収入 H18.4 (千円)
度数	89	89	89	89	89	89	89	89
平均値	19,312.7	940,368.6	18,160.2	877,727.1	18,797.2	885,454.3	17,789.5	842,535.1
中央値	18,569.0	510,907.0	17,663.0	479,650.0	18,244.0	505,800.0	17,127.0	471,831.0
補正後平均値	—	(A) 940,368.6	—	(B) 906,984.7	—	(C) 885,454.3	—	(D) 870,619.6

これより、月間収入の補正後平均値について、①H17.3→H18.3、②H17.4→H18.4、③H17.3→H17.4、④H18.3→H18.4それぞれの変動について%を算出した。

①H17.3→H18.3の変化	$1 - (C) / (A)$	5.840%の減
②H17.4→H18.4の変化	$1 - (D) / (B)$	4.009%の減
③H17.3→H17.4の変化	$1 - (B) / (A)$	3.550%の減
④H18.3→H18.4の変化	$1 - (D) / (C)$	1.675%の減



④入院基本料、特定入院料等（出来高病院：精神病床）

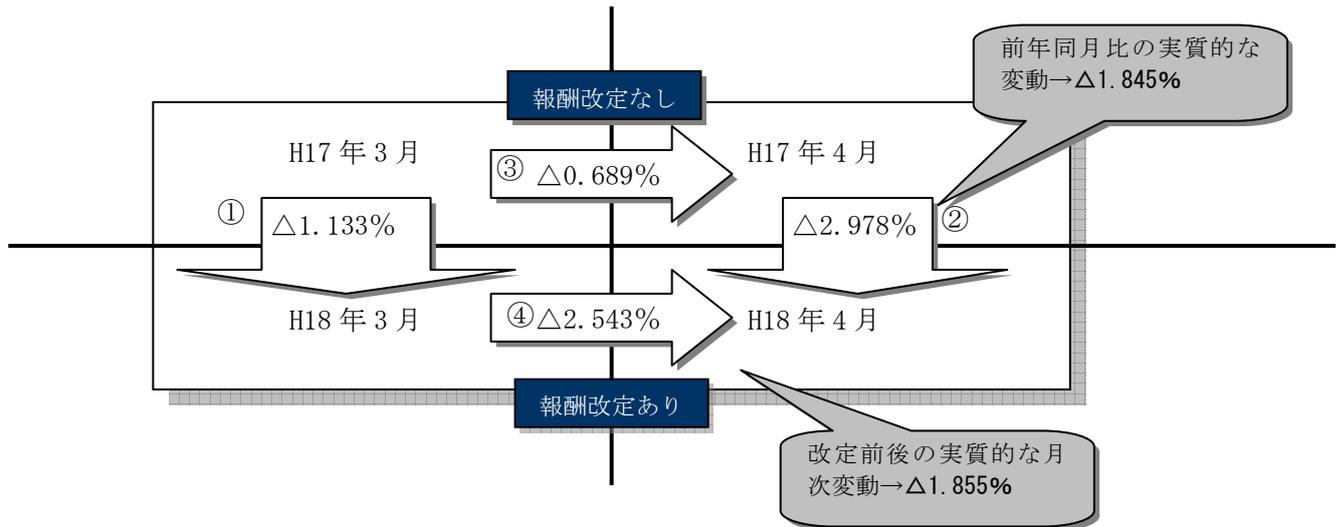
平成17年3月、4月、平成18年3月、4月のデータがすべて備わっていたデータ（230件）を分析対象とした。また、月間収入について、3月と4月を比較する上で単純な日数補正を実施した。

図表 23 入院基本料、特定入院料等（出来高病院：精神病床）集計一覧

	出来高精神延日数 H17.3(日)	出来高精神月間収入 H17.3 (千円)	出来高精神延日数 H17.4(日)	出来高精神月間収入 H17.4 (千円)	出来高精神延日数 H18.3(日)	出来高精神月間収入 H18.3 (千円)	出来高精神延日数 H18.4(日)	出来高精神月間収入 H18.4 (千円)
度数	230	230	230	230	230	230	230	230
平均値	4,327.5	46,214.3	4,115.5	44,415.3	4,150.1	45,690.8	3,923.7	43,092.6
中央値	2,809.0	27,106.0	2,693.5	26,683.0	2,684.0	27,219.0	2,591.0	25,129.5
補正後平均値	—	(A) 46,214.3	—	(B) 45,895.8	—	(C) 45,690.8	—	(D) 44,529.0

これより、月間収入の補正後平均値について、①H17.3→H18.3、②H17.4→H18.4、③H17.3→H17.4、④H18.3→H18.4それぞれの変動について%を算出した。

①H17.3→H18.3の変化	$1 - (C) / (A)$	1.133%の減
②H17.4→H18.4の変化	$1 - (D) / (B)$	2.978%の減
③H17.3→H17.4の変化	$1 - (B) / (A)$	0.689%の減
④H18.3→H18.4の変化	$1 - (D) / (C)$	2.543%の減



⑤救急医療管理加算

平成17年3月、4月、平成18年3月、4月のデータがすべて備わっていたデータ(597件)を分析対象とした。また、月間収入について、3月と4月を比較する上で単純な日数補正を実施した。

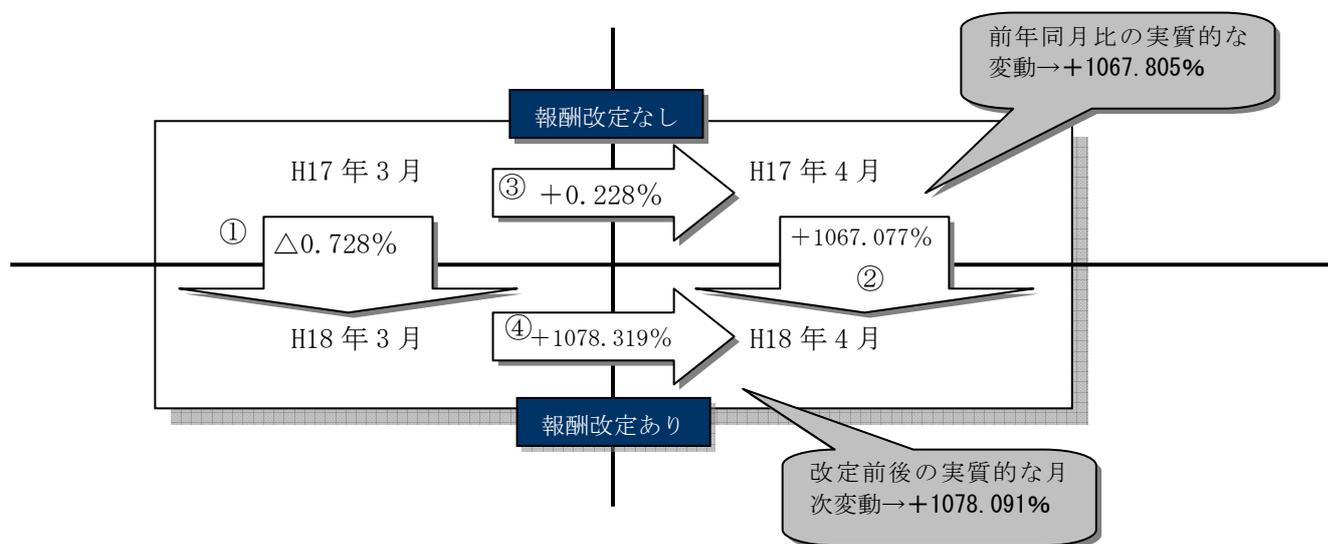
図表 24 救急医療管理加算集計一覧

	算定件数 H17.3(件)	月間収入 H17.3 (千円)	算定件数 H17.4(件)	月間収入 H17.4 (千円)	算定件数 H18.3(件)	月間収入 H18.3 (千円)	算定件数 H18.4(件)	月間収入 H18.4 (千円)
度数	597	597	597	597	597	597	597	597
平均値	38.2	229.1	37.0	222.2	37.9	227.4	432.2	2,593.3
中央値	19.0	114.0	18.0	108.0	20.0	120.0	203.0	1,218.0
補正後平均値	—	(A) 229.1	—	(B) 229.6	—	(C) 227.4	—	(D) 2,679.7

これより、月間収入の補正後平均値について、①H17.3→H18.3、②H17.4→H18.4、③H17.3→H17.4、④H18.3→H18.4それぞれの変動について%を算出した。

①H17.3→H18.3の変化	$1 - (C) / (A)$	0.728%の減
②H17.4→H18.4の変化	$1 - (D) / (B)$	1067.077%の増
③H17.3→H17.4の変化	$1 - (B) / (A)$	0.228%の増
④H18.3→H18.4の変化	$1 - (D) / (C)$	1078.319%の増

救急医療管理加算については、平成 18 年 4 月の診療報酬改定により、入院した日から起算して 7 日間を限度とした算定が可能となったため、大幅な増加となっている。



⑥乳幼児救急医療管理加算

平成 17 年 3 月、4 月、平成 18 年 3 月、4 月のデータがすべて備わっていたデータ（142 件）を分析対象とした。また、月間収入について、3 月と 4 月を比較する上で単純な日数補正を実施した。

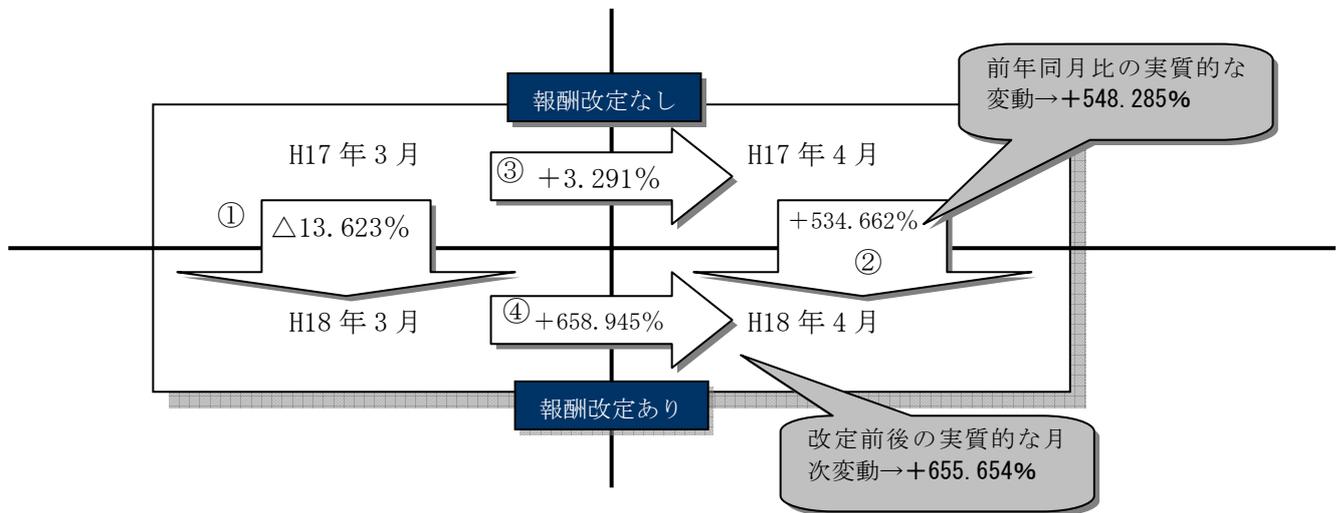
図表 25 乳幼児救急医療管理加算集計一覧

	算定件数 H17.3(件)	月間収入 H17.3 (千円)	算定件数 H17.4(件)	月間収入 H17.4 (千円)	算定件数 H18.3(件)	月間収入 H18.3 (千円)	算定件数 H18.4(件)	月間収入 H18.4 (千円)
度数	142	142	142	142	142	142	142	142
平均値	17.3	26.0	17.3	26.0	15.0	22.4	109.9	164.8
中央値	9.0	13.5	8.0	12.0	9.0	13.5	47.0	70.5
補正後平均値	—	(A) 26.0	—	(B) 26.8	—	(C) 22.4	—	(D) 170.3

これより、月間収入の補正後平均値について、①H17.3→H18.3、②H17.4→H18.4、③H17.3→H17.4、④H18.3→H18.4 それぞれの変動について%を算出した。

①H17.3→H18.3 の変化	$1 - (C) / (A)$	13.623%の減
②H17.4→H18.4 の変化	$1 - (D) / (B)$	534.662%の増
③H17.3→H17.4 の変化	$1 - (B) / (A)$	3.291%の増
④H18.3→H18.4 の変化	$1 - (D) / (C)$	658.945%の増

乳幼児救急医療管理加算については、平成 18 年 4 月の診療報酬改定により、入院した日から起算して 7 日間を限度とした算定が可能となったため、大幅な増加となっている。



⑦紹介患者加算

平成17年3月、4月、平成18年3月のデータがすべて備わっていたデータ(1,310件)を分析対象とした。また、月間収入について、3月と4月を比較する上で単純な日数補正を実施した。

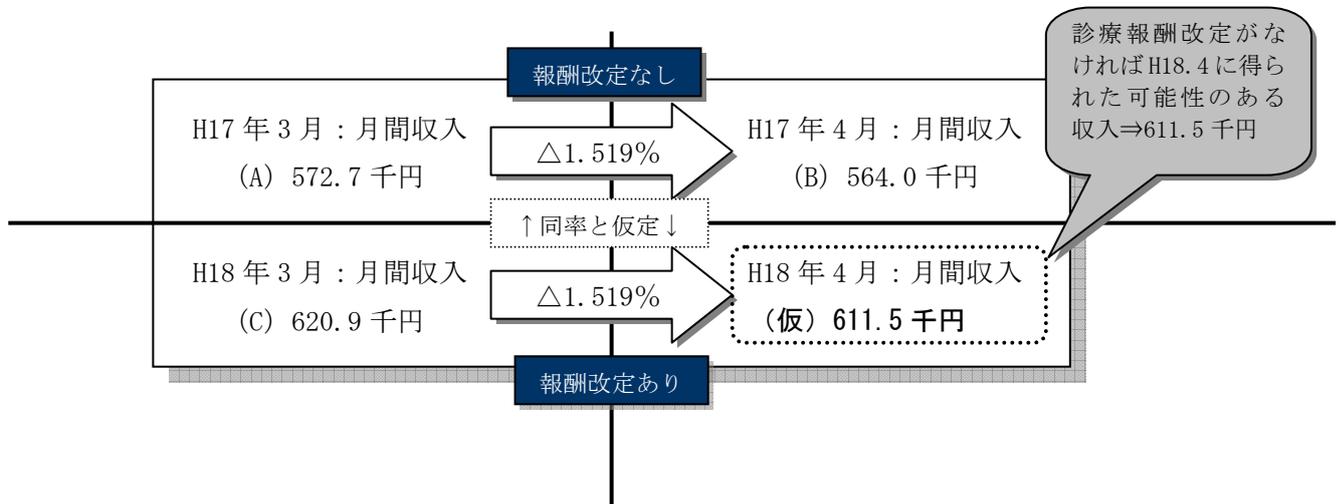
図表 26 紹介患者加算集計一覧

	算定件数 H17.3 (件)	月間収入 H17.3 (千円)	算定件数 H17.4 (件)	月間収入 H17.4 (千円)	算定件数 H18.3 (件)	月間収入 H18.3 (千円)
度数	1310	1310	1310	1310	1310	1310
平均値	363.4	572.7	344.8	545.9	353.6	620.9
中央値	142.0	99.0	136.0	101.0	144.0	121.0
補正後平均値	—	(A) 572.7	—	(B) 564.0	—	(C) 620.9

これより、月間収入の補正後平均値を用いて、診療報酬改定がなかった場合に平成18年4月に得られたと仮定できる金額を算出した。平成17年3月から平成17年4月の変動割合 r は、

$$r = - (1 - (B) / (A)) \times 100 = -1.519\%$$

と表せる。よって、平成18年3月と4月の変動割合についても、これと同様と仮定すると、下記の通りとなり、改定がなければ平成18年4月に得られた可能性のある収入は611.5千円となる。



⑧紹介外来特別加算

平成 17 年 3 月、4 月、平成 18 年 3 月のデータがすべて備わっていたデータ（126 件）を分析対象とした。また、月間収入について、3 月と 4 月を比較する上で単純な日数補正を実施した。

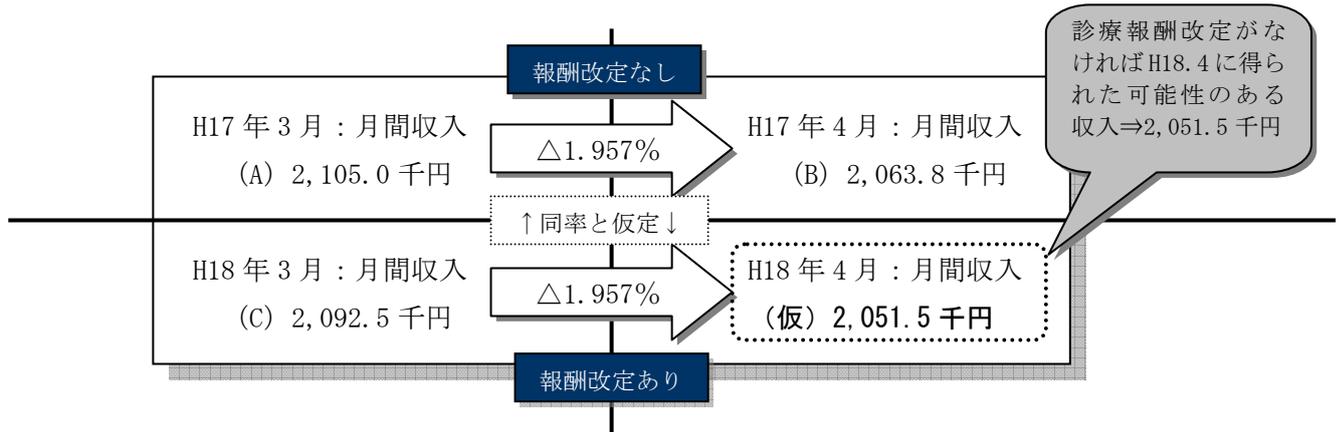
図表 27 紹介外来特別加算集計一覧

	算定件数 H17.3 (件)	月間収入 H17.3 (千円)	算定件数 H17.4 (件)	月間収入 H17.4 (千円)	算定件数 H18.3 (件)	月間収入 H18.3 (千円)
度数	126	126	126	126	126	126
平均値	3,987.3	2,105.0	3,791.6	1,997.2	3,963.3	2,092.5
中央値	3,691.0	1,887.0	3,371.0	1,881.5	3,549.0	1,778.5
補正後平均値	—	(A) 2,105.0	—	(B) 2,063.8	—	(C) 2,092.5

これより、月間収入の補正後平均値を用いて、診療報酬改定がなかった場合に平成 18 年 4 月に得られたと仮定できる金額を算出した。平成 17 年 3 月から平成 17 年 4 月の変動割合 r は、

$$r = - (1 - (B) / (A)) \times 100 = -1.957\%$$

と表せる。よって、平成 18 年 3 月と 4 月の変動割合についても、これと同様と仮定すると、下記の通りとなり、改定がなければ平成 18 年 4 月に得られた可能性のある収入は 2,051.5 千円となる。



⑨急性期入院加算

平成 17 年 3 月、4 月、平成 18 年 3 月のデータがすべて備わっていたデータ（219 件）を分析対象とした。また、月間収入について、3 月と 4 月を比較する上で単純な日数補正を実施した。

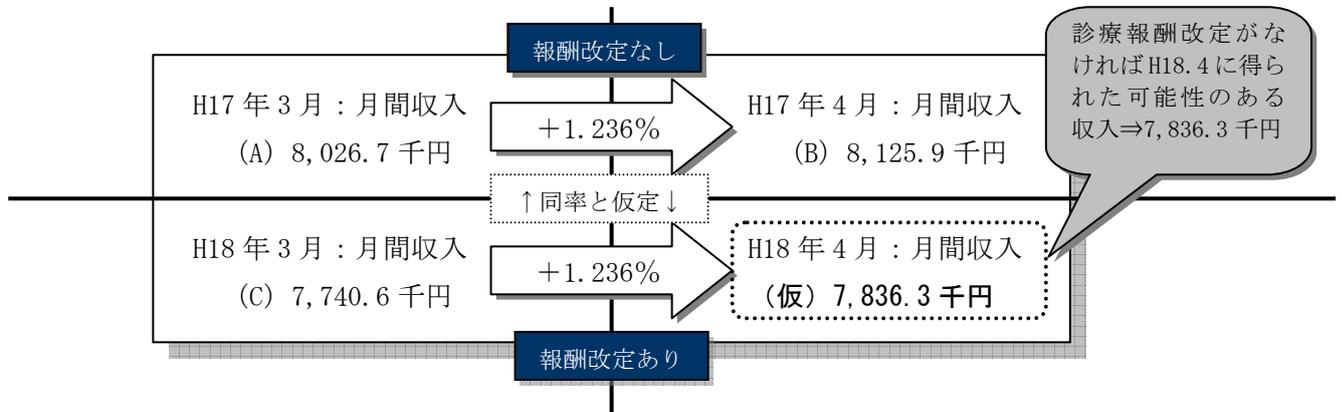
図表 28 急性期入院加算集計一覧

	算定件数 H17.3 (件)	月間収入 H17.3 (千円)	算定件数 H17.4 (件)	月間収入 H17.4 (千円)	算定件数 H18.3 (件)	月間収入 H18.3 (千円)
度数	219	219	219	219	219	219
平均値	5,479.4	8,026.7	5,205.2	7,863.7	5,334.8	7,740.6
中央値	5,389.0	7,815.0	5,165.0	7,502.0	5,378.0	7,638.0
補正後平均値	—	8,026.7	—	8,125.9	—	7,740.6

これより、月間収入の補正後平均値を用いて、診療報酬改定がなかった場合に平成 18 年 4 月に得られたと仮定できる金額を算出した。平成 17 年 3 月から平成 17 年 4 月の変動割合 r は、

$$r = - (1 - (B) / (A)) \times 100 = +1.236\%$$

と表せる。よって、平成 18 年 3 月と 4 月の変動割合についても、これと同様と仮定すると、下記の通りとなり、改定がなければ平成 18 年 4 月に得られた可能性のある収入は 7,836.3 千円となる。



⑩急性期特定入院加算

平成 17 年 3 月、4 月、平成 18 年 3 月のデータがすべて備わっていたデータ (46 件) を分析対象とした。また、月間収入について、3 月と 4 月を比較する上で単純な日数補正を実施した。

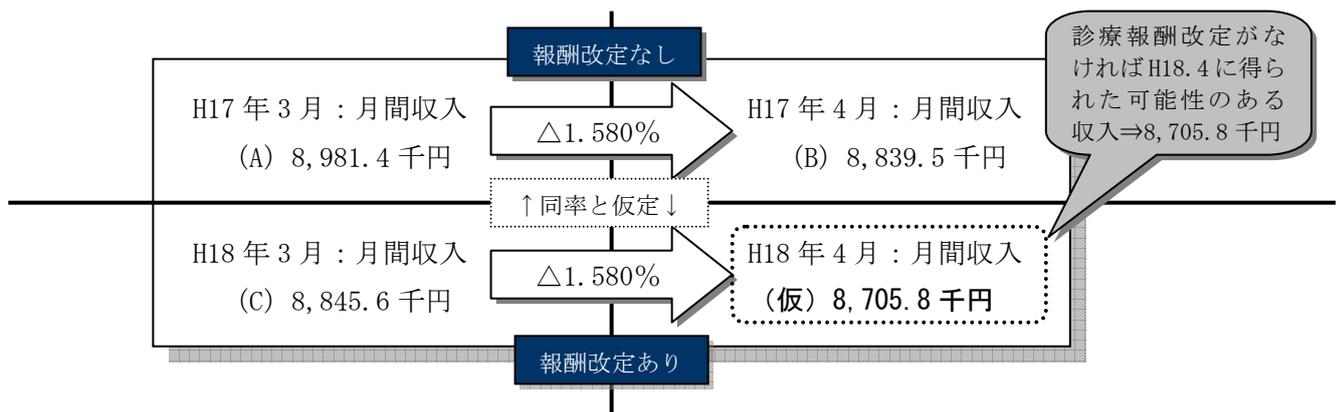
図表 29 急性期特定入院加算集計一覧

	算定件数 H17.3 (件)	月間収入 H17.3 (千円)	算定件数 H17.4 (件)	月間収入 H17.4 (千円)	算定件数 H18.3 (件)	月間収入 H18.3 (千円)
度数	46	46	46	46	46	46
平均値	5,123.5	8,981.4	4,871.9	8,554.4	5,051.2	8,845.6
中央値	4,863.0	8,139.0	4,605.0	7,653.0	4,878.5	8,110.0
補正後平均値	—	8,981.4	—	8,839.5	—	8,845.6

これより、月間収入の補正後平均値を用いて、診療報酬改定がなかった場合に平成 18 年 4 月に得られたと仮定できる金額を算出した。平成 17 年 3 月から平成 17 年 4 月の変動割合 r は、

$$r = - (1 - (B) / (A)) \times 100 = -1.580\%$$

と表せる。よって、平成 18 年 3 月と 4 月の変動割合についても、これと同様と仮定すると、下記の通りとなり、改定がなければ平成 18 年 4 月に得られた可能性のある収入は 8,705.8 千円となる。



⑪重度認知症加算

平成18年4月のデータがすべて備わっていたデータ(41件)を分析対象とした。また、月間収入について、単純な日数補正を実施した。

図表 30 重度認知症加算集計一覧

	算定件数 H18.4(件)	月間収入 H18.4(千円)
度数	41	41
平均値	109.0	109.0
中央値	30.0	30.0
補正後平均値	—	112.6

(3) リハビリテーション料および入院時食事療養費

①リハビリテーション料

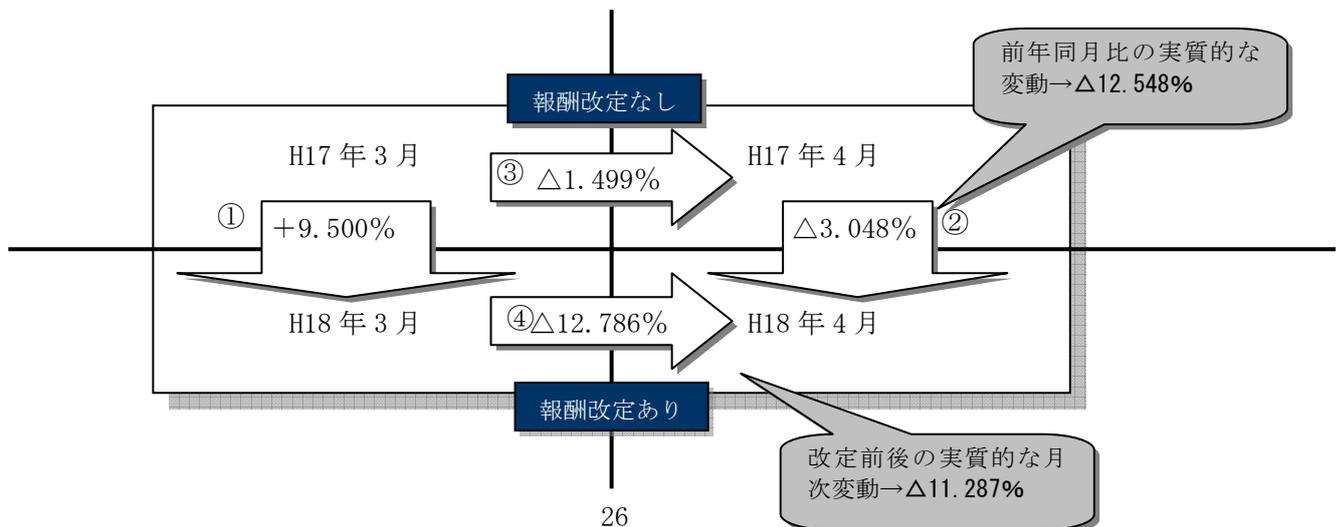
平成17年3月、4月、平成18年3月、4月のデータがすべて備わっていたデータ(1,249件)を分析対象とした。また、月間収入について、3月と4月を比較する上で単純な日数補正を実施した。

図表 31 リハビリテーション料集計一覧

	算定件数 H17.3(件)	月間収入 H17.3 (千円)	算定件数 H17.4(件)	月間収入 H17.4 (千円)	算定件数 H18.3(件)	月間収入 H18.3 (千円)	算定件数 H18.4(件)	月間収入 H18.4 (千円)
度数	1249	1249	1249	1249	1249	1249	1249	1249
平均値	2,811.0	6,155.2	2,661.7	5,867.3	3,003.9	6,739.9	2,594.8	5,688.5
中央値	1,978.0	3,433.0	1,840.0	3,249.0	2,083.0	3,770.0	1,814.0	2,937.0
補正後平均値	—	(A)6,155.2	—	(B)6,062.9	—	(C)6,739.9	—	(D)5,878.1

これより、月間収入の補正後平均値について、①H17.3→H18.3、②H17.4→H18.4、③H17.3→H17.4、④H18.3→H18.4それぞれの変動について%を算出した。

①H17.3→H18.3の変化	$1 - (C) / (A)$	9.500%の増
②H17.4→H18.4の変化	$1 - (D) / (B)$	3.048%の減
③H17.3→H17.4の変化	$1 - (B) / (A)$	1.499%の減
④H18.3→H18.4の変化	$1 - (D) / (C)$	12.786%の減



②入院時食事療養費

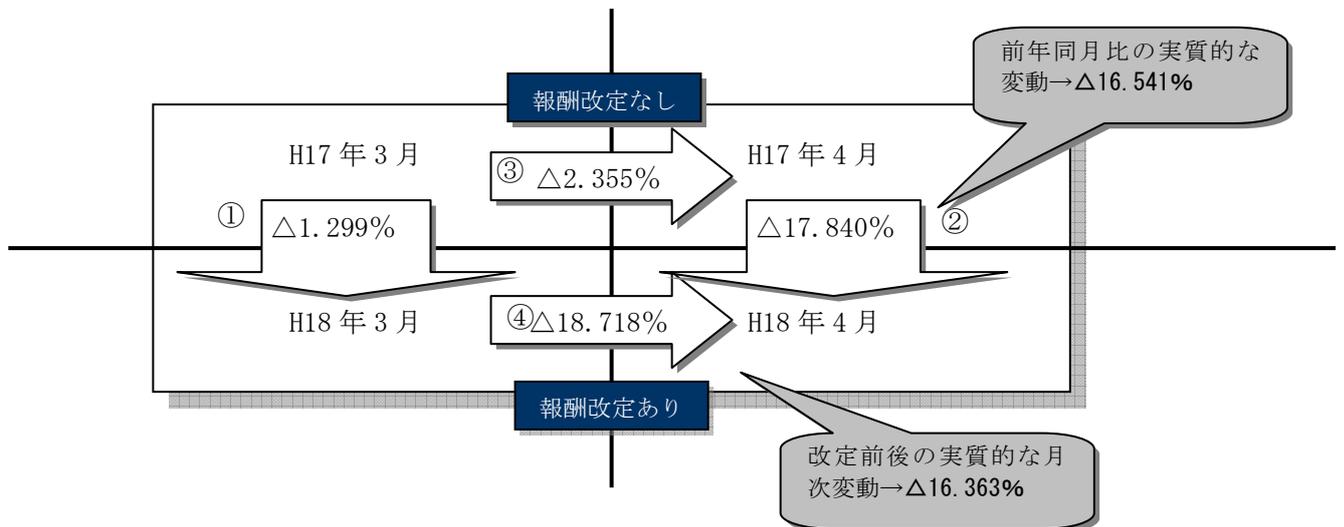
平成17年3月、4月、平成18年3月、4月のデータがすべて備わっていたデータ（1421件）を分析対象とした。また、月間収入について、3月と4月を比較する上で単純な日数補正を実施した。

図表 32 入院時食事療養費集計一覧

	算定件数 H17.3(件)	月間収入 H17.3 (千円)	算定件数 H17.4(件)	月間収入 H17.4 (千円)	算定件数 H18.3(件)	月間収入 H18.3 (千円)	算定件数 H18.4(件)	月間収入 H18.4 (千円)
度数	1421	1421	1421	1421	1421	1421	1421	1421
平均値	7,076.4	14,704.2	6,687.8	13,894.8	6,980.8	14,513.2	17,837.6	11,416.0
中央値	5,822.0	12,134.4	5,533.0	11,431.0	5,684.0	11,804.2	14,479.0	9,266.6
補正後平均値	—	(A) 14,704.2	—	(B) 14,358.0	—	(C) 14,513.2	—	(D) 11,796.6

これより、月間収入の補正後平均値について、①H17.3→H18.3、②H17.4→H18.4、③H17.3→H17.4、④H18.3→H18.4それぞれの変動について%を算出した。

①H17.3→H18.3の変化	$1 - (C) / (A)$	1.299%の減
②H17.4→H18.4	$1 - (D) / (B)$	17.840%の減
③H17.3→H17.4	$1 - (B) / (A)$	2.355%の減
④H18.3→H18.4	$1 - (D) / (C)$	18.718%の減



(4) 日病協「平成18年度診療報酬改定要望事項」で評価された主な項目

		平均値	中央値	補正後 平均値
1. 医療安全対策加算 (n=439)	算定件数 (件)	616.6	431	—
	月間収入 (千円)	308.3	215.5	318.6
2. 褥瘡患者管理加算 (n=1,106)	算定件数 (件)	58.6	30	—
	月間収入 (千円)	11.7	6	12.1
3. 褥瘡ハイリスク患者ケア加算 (n=54)	算定件数 (件)	250.5	22.5	—
	月間収入 (千円)	1,252.6	112.5	1,294.3
4. 栄養管理実施加算 (n=1,082)	算定件数 (件)	4,575.3	3,083.5	—
	月間収入 (千円)	549.0	370.02	567.3
5. 電子化加算 (n=673)	算定件数 (件)	1,085.5	822	—
	月間収入 (千円)	32.6	24.66	33.7
6. 精神化ショートケア (n=35)	算定件数 (件)	58.1	26	—
	月間収入 (千円)	181.0	79	187.1
7. 重度認知症患者デイ・ケア料 (n=36)	算定件数 (件)	374.2	378.5	—
	月間収入 (千円)	3,354.0	3,384.5	3,465.8
8. 臨床研修病院入院医療加算 (n=458)	算定件数 (件)	751.9	520	—
	月間収入 (千円)	281.0	193	290.4
9. ニコチン依存症管理料 (n=41)	算定件数 (件)	16.0	5	—
	月間収入 (千円)	16.2	11	16.7
10. ハイリスク分娩管理加算 (n=210)	算定件数 (件)	16.3	11.5	—
	月間収入 (千円)	163.2	115	168.6

(5) 診療報酬改定による収入減少分に占める各項目の割合

一般病床の外来収入および入院収入のデータのうち、件数、延日数、月間収入、一人一日当たり収入の値がすべて備わっていた949件について、収入全体の変動に占める各項目の割合を検討した。

平成18年4月の診療報酬改定による影響度を△2.121% (P14、2.(4)より)とすると、949病院全体における影響度(収入減少分)の総額は、

$$\begin{aligned}
 \text{影響度総額} &= (\text{平成18年4月の外来・入院合計収入}) \times 0.02121 \\
 &= 398,206,653.5 \text{ 千円} \times 0.02121 = \underline{8,445,963 \text{ 千円}}
 \end{aligned}$$

の減少となる。

これより、各項目が減少分全体に占める割合は以下の通り。

図表 33 収入減少分に占める各項目の割合

	度数	月間収入合計 H18.3(千円)	月間収入合計 H18.4(千円)	月間収入合計 補正済み H18.4(千円)	差分 (H18.4-H18.3) (千円)	減少分 全体に 占める 割合 (%)
入院時食事療養費	858	12,530,328.6	9,865,964.8	10,194,830.3	-2,335,498.3	-27.652
急性期入院加算	167	1,260,667.6	—	—	-1,260,667.6	-14.926
リハビリテーション料	789	5,330,309.6	4,470,627.5	4,619,648.4	-710,661.2	-8.414
入院基本料・特定入院料等	530	84,208,720.8	80,846,499.4	83,541,382.8	-667,338.1	-7.901
紹介患者加算	817	601,525.1	—	—	-601,525.1	-7.122
再診外来診療料	906	5,610,729.8	5,049,414.0	5,217,727.8	-393,002.0	-4.653
急性期特定入院加算	33	265,164.1	—	—	-265,164.1	-3.140
紹介外来特別加算	76	162,542.0	—	—	-162,542.0	-1.924
継続管理加算	370	35,877.6	—	—	-35,877.6	-0.425
ニコチン依存症管理料	29	—	356.3	368.2	368.2	0.004
精神科ショートケア	9	—	1,053.0	1,088.1	1,088.1	0.013
重度認知症加算	13	—	1,071.0	1,106.7	1,106.7	0.013
褥瘡ハイリスク患者ケア加算	31	—	7,135.0	7,372.8	7,372.8	0.087
褥瘡患者管理加算	692	—	8,969.8	9,268.8	9,268.8	0.110
乳幼児救急医療管理加算	92	1,845.0	15,108.0	15,611.6	13,766.6	0.163
電子化加算	401	—	14,733.7	15,224.8	15,224.8	0.180
重度認知症患者デイ・ケア料	5	—	17,522.2	18,106.3	18,106.3	0.214
ハイリスク分娩管理加算	155	—	25,180.0	26,019.3	26,019.3	0.308
臨床研修病院入院医療加算	324	—	98,906.4	102,203.3	102,203.3	1.210
医療安全対策加算	287	—	103,144.5	106,582.7	106,582.7	1.262
初診料	919	3,241,664.6	3,325,914.0	3,436,777.8	195,113.3	2.310
栄養管理実施加算	636	—	347,751.5	359,343.2	359,343.2	4.255
救急医療管理加算	397	95,256.0	1,124,592.0	1,162,078.4	1,066,822.4	12.631